



2025 年 1 月 31 日

各位

石油資源開発株式会社

Tel: 03-6268-7000 (代表)

<https://www.iapex.co.jp/contact/>

**LNG 燃料フェリー「さんふらわあ かむい」大洗～苫小牧航路へ  
LNG 燃料供給を開始  
～船舶燃料の低炭素化に向け、フェリーの LNG 燃料化を促進～**

石油資源開発株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山下 通郎、以下「当社」）は、株式会社商船三井（本社：東京都港区、代表取締役社長：橋本 剛、以下「商船三井」）が保有し、グループ会社の株式会社商船三井さんふらわあ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：牛奥 博俊、以下「商船三井さんふらわあ」）が運航する LNG 燃料フェリー「さんふらわあ かむい」（以下「本船」）への LNG 燃料供給を 1 月 22 日に開始いたしました。

当社と商船三井は、2023 年 1 月、Truck to Ship 方式<sup>(※1)</sup>を用いた商船三井さんふらわあが運航する LNG 燃料フェリー向け LNG 燃料供給に関する基本協定を締結し<sup>(※2)</sup>、準備を進めて参りました。今回の Truck to Ship 方式は、スキッドと呼ばれる導管装置を用いて、茨城港大洗港区にて、本船と当社相馬 LNG 基地（福島県新地町）から輸送するタンクローリー 4 台を同時に接続し、供給を行うものです。これにより、限られた停泊時間に必要十分な LNG 燃料を安定的に供給することが可能となります。なお、船舶とタンクローリー 4 台を同時に接続した Truck to Ship 方式は、東日本では初の実施となります。

姉妹船「さんふらわあ ぴりか」が就航する本年初夏までは、ほぼ一日おき、就航後 2 隻体制に移行後には、ほぼ毎日、茨城港大洗港区で LNG 燃料供給が行われる予定です。

LNG 燃料は、従来の燃料油に比べて、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出量を約 25%削減する効果が見込め、船舶燃料の低炭素化を実現する有効な手段です。当社は 2024 年 4 月より室蘭～尻屋間においても Truck to Ship 方式での LNG 燃料供給を開始しており、今後も国内における LNG 燃料の普及を推進し、環境負荷の低減に貢献していきます。

以上

注)

\*1: 船舶への LNG 供給方式の一つ。停泊中の船舶に対して、岸壁に配置したタンクローリーから LNG を供給する方式。

\*2: 2023 年 1 月 6 日付当社、商船三井、商船三井フェリー他プレスリリース「[大洗～苫小牧航路 新造 LNG フェリー2 隻への LNG 燃料供給に関する基本協定書を締結～船舶燃料の低炭素化に向け、フェリーの LNG 燃料化をさらに推進～](#)」参照。

(参考写真)



タンクローリー4台とスキッドによる LNG 燃料供給

###